

## 幼稚園を修了する幼児達に

わが貴重なる幼児達よ。皆さんは此の月の終りには幼稚園の教育を了へらるゝのである。さうして、皆さんが此の頃から楽しみ待つて居る小學校に入らるゝのである。誠によろこばしきことである。

いざ、勇ましく、元氣に、わき目もふらず、良き生徒となられよ。進んでは、中學校高等女學校の生徒としても、一心不亂、前を前を、上を上をとのみ目がけて進まれよ。何ものをも振りかへり見、回顧するの暇をも持たぬ程に進まれよ。されば、幼稚園のことなども、暫く念頭より去らるゝ何の咎めん。たゞ、この後の學校に専念して、その時の先生を尊敬し信頼して、一つでも多く、新らしき進歩を怠らぬ様せられよ。而して、皆さんが受けたる總ての教育の全體の結果を以て、眞に

立派なる人間となられよ。之れ皆さんの親君達の期待なるのみならず、皆さんの爲に二年乃至三年の長き親愛の情を盡されたる幼稚園の先生方の御祈念である。

さて皆さん、眞に皆さんの將來を祈念せらるゝ、皆さんの先生方は、皆さんの新らしき幸福と進歩とを希ふにのみ忙しくて、愛する皆さんとの今のお別れの悲しみを思ふの暇もない程である。況んや皆さんの心の裡に始終記憶として御自分をとめて置き度いといふことさへも、皆さんに向つては別段求められない程である。それは實は先生方が愛する皆さんへの切なお望みなのである。聊かの無理もない自然なるお望みなのである。しかし、皆さんの之からの新しい専心のために、それをも望まれないのである。

しかし、私は信じて居る。皆さんは、假りに暫らくの間、幼稚園のことを忘れ、先生方のことを思ひ出すことがないにしても、いつかは、幼稚園と幼稚園で可愛がつて頂いた先生方とを、しみじみと思ひ浮かべ、考へかへす時のあることを信じて居る。それは何時であらうか。或は皆さんが、まだ學生で居る間にも、事にふれ、時にふれて、さういふことがあるかもしれない。そして、なつかしさに幼稚園を歸り訪はるゝことがあるかもしれない。しかし、私のいふのはそれ等ではない。さういふ感傷的なことをいふのではない。もつと嚴肅に、もつと深刻に、もつと人生的に、幼稚園と其の先生方とを思ふことがあると信ずるのである。

皆さんは、皆さんの人格的成熟の或る時期に於て、自己の人格構成に與つて關係ありと思はるゝ、諸種の事實を、その時以前の過去の生涯の中に探がさるゝことが來るのであらう。而して、それ等

の諸事實の中から、最も重要なものとして、自分の受けた教育を思ひ出し又感謝せらるゝ時が來るであらう。そして、その感謝の對象としての多くの恩人の中に、いろゝゝの學校で教育を受けた諸先生を思ひ浮かべらるゝ時が來るであらう。殊に、上の學校の先生方から段々下の學校の先生方へ追懷を辿つていつて、今之から皆さんがお世話にならうとして居る小學校の先生方を、したはしくも、うれしくも、有り難くも思ひ浮かべらるゝであらう。但し、之れは今の皆さんには何のことかよく分るまいが、其の時になれば、よく分ることである。而して、其の時に、然り其の時に、皆さんの感謝の追懷は小學校で止まつて仕舞はないで、もう一つ舊い幼稚園まで遡らなければならぬ。ならぬと言へば傍から強ひることのように聞えるが、皆さんは必ずさうだと私は信ずるのである。私が特に今日言つて置き度いのは此の事である。

世の人の多くは、幼稚園時代の追懷を、たゞ夢

の様だ霞の様だといふ。その夢の中に處々多少濃く明瞭な處もあり、その霞の中に比較的濃い點はあるにしても、全體として、兎に角く漠然たるものだといふ。それも記憶が漠然として居るといふだけでなく、思索して見て、分解して見て、たゞ樂しかりし夢、美しかりし霞との外、そこに何等の實質的な、更に平にいへば、人格構成の上に、之れと言つて捉ふべき利益のあつたことを見出し得ないといふ。楽しい時期ではあつたが、利益の時期であつたといふことが餘りはつきりしないといふ。従つてそれ等の人々は、生涯に與へられた教育的効果の總和を勘定する時に、往々にして幼稚園をぬきにする。すなはち、なつかしい昔としては思つても、自分にとつて、實に切實なる價値であつたとは考へない。従つて、幼稚園の先生方に對しても、詩の思ひ出の活きた記念としてか、或は、其の先生に於て幼かりし當時の自分を思ひ出して、なつかしく、したはしい方としてか、或

は又、幼弱なる當時の我れの愛護者としての、懇な御厄介を恐縮に思ふとか、先づこれ等に止まつて更に一步を進めない。更に一步を進めないとは何か、すなはち、當時の軟弱微小なる、しかしながら、わが人格構成の第一歩としての最も貴重なりし時期に於ての、教育者として此恩といふことを思はない。世の人の多くは、こゝ迄一步を進めて居ないのである。皆さんも亦同様なことになるのであらうか。

皆さん。將來に於ける無限の期待の負擔者たる皆さん。若し、皆さんも世の人の多くと同じことであるのならば、私は、皆さんの今迄居られた幼稚園のために、皆さんの大好きな先生方のために、どんな悲しい、遺憾なことかと思はざるを得ないのである。但し、皆さんの先生方は、別段それで皆さんをおうらみなさりはしない。草の種子を蒔く人や丹精する人は、その草が花を開いた時、花から恩を思はれようとは思つて居ない。少しでも

美しい花に咲いて呉れることが、そのことが自分への何よりの酬みだと思つて居る。皆さんの立派な人格の成熟は、それが何よりの事實として、先生方を満足させるのである。先生方は、此の二年三年の御教育が、皆さんの人格構成の諸勢力の中に、與り加はつて一個の貴重なる要素をなすことを、確信して居られるのである。何人が何といつても、自らは疑ふ處ない確信を有して居らるゝのである。皆さんが、後になつて、それを明かに心づかるゝや否やに何の左右せらるゝ處のない程、確信して居らるゝのである。況んや、更めての感恩の辭などを少しでも望んで居らるゝのではない。そんなものは必要のない程、皆さんの教育者としての自己の價值と尊嚴とを確信して居られるのである。

しかし、私は、先生方には餘計のことかも知れないが、皆さんに注意して置く。皆さんは、將來可なり遠き將來、各自の人格の成熟の時期に於て

顧みて諸種の教育の効果を教へる時に、必ず、忘るゝことなく、幼稚園教育の効果をもお數へなさい。そして、今、皆さんのお別れせんとして居る先生方の多くは御世話に對する御禮と共に、其の教育の恩を感謝することをお忘れなさるな。そして、美しく咲いた花の様な、その時の立派な皆さんの人格を、先生方の前へお目にかけて、先生方を悦ばせてお上げなさい。

私は、皆さんのために、幼稚園のために、幼稚園の先生のために、此の私の希望の實現を切に祈念して已まないものである。(倉橋生)

手をのべてしたひ寄る兒を手をのべて

抱けば何かえたるよるこび (西山しづ子)

はしけやし資のごとく幼兒の

ひとりひとりが輝けるなり (同)